

## 11. 研 究 · 普 及

## (1) 試験研究実績

目標	課題	試験概要	摘要
森林生産の増大	幹曲り防止のための育林手法の研究 (国補一般)	実態調査によると粗植、地位Ⅲ、施業の粗放なところは幹曲りが大である。	57～59年度
	ヒノキ採種園における種子生産技術の確立 (国補メニュー)	シベレリン及び根切り、幹はく皮による着花促進とクローン間の自然着花性等を調べた。	58～60年度
	県内産名柄材育成のための育種に関する研究 (県単)	スギ9クローン、ヒノキ14クローンについて、枝張り、枝密度、枝径、枝長と着用角度等について調査	58～59年度
	きのこ原木林育成技術 (国補大型プロジェクト)	きのこ原木林の人工林育成技術を向上させるため、コナラの育苗、クヌギ、コナラの植栽密度、肥培試験を実施した。	58～62年度
	薬用等原木林育成技術 (国補大型プロジェクト)	薬用等原木林の人工林育成技術を向上させるため、キハダ、シキミの育苗、植栽密度、肥培試験を実施した。	58～62年度
	地域の特性に応じた作業道の設計、作設についての合理的工法に関する研究 (国補メニュー)	31路線について排水施設の細部調査を実施、作業道設計マニュアルの作成資料とする。	57～59年度
森林資源の活用	食用きのこ栽培のコストダウン技術に関する調査 (国補システム化)	スギ、ヒノキ原木に保水栄養剤を加圧注入し、シイタケ菌のほだ付、子実体発生調査を実施した。	58～60年度
	マツタケの増殖技術に関する研究 (県単)	マツ林の施業改善、マツタケ感染苗木の移植、胞子液散布苗の移植を実施した。	55～60年度
	モウソウ竹林の改善とタケノコ早出法の開発 (国補組織的調査)	タケノコ早出し試験及び竹材オガ粉の家畜敷料使用調達の実施。	58～59年度
	農林水産業用資材等農山漁村地域における国産材の需用開発に関する総合研究—木質系産業用資材などの需要ポテンシャル調査— (国補大型プロジェクト)	農業用資材としての木材の需要実態調査及び畜産敷料用オガ粉の流通利用実態調査の実施。	59～60年度
	—資材の試作と性能評価— (国補大型プロジェクト)	スギ、ヒノキ間伐材及びクロマツの利用による木レンガのブロック化と試験歩道の設置	59～63年度
	間伐材利用拡大に関する組織的調査研究 (県単)	検討委員会を開催し、木レンガその他、間伐材の利用拡大について検討した。	59年度
森林の保全	スギ、ヒノキ穿孔性害虫被害の防除技術に関する研究 (国補大型プロジェクト)	スギカミキリ、スギノアカネトラカミキリ等による被害材の変色、腐朽、材質材価、被害林分の環境等の調査	58～62年度
	松の枯損被害パターンをもとにした新たな防除技術の実用化に関する調査 (国補システム化)	マツノマダラカミキリの誘引駆除、グリーンガード剤の注入、土壌施用薬剤、枯死丸太の殺線虫試験の実施	58～60年度
	山腹急斜地の緑化に有効な基礎工に関する研究 (国補メニュー)	緑化に有効な基礎工の適正規模配置等を検討するため、山腹既施工地の緑化工と基礎工の実態を調査した。	58～60年度
	林地貯水能の定量化に係る因子の測定、分析に関する試験 (国補メニュー)	林地の貯水能を知るため、落葉の供給量、落葉の分解速度、Ao層の被覆度、土壌流亡量等の調査を実施した。	59～61年度

(2) 普及指導事業実施状況

事業名		概要	摘要
林業普及	普及情報システム化事業	情報システム整備 マツの枯損被害をもとにした防除技術の実用化に関する調査 食用きのこ栽培のコストダウン技術に関する調査	
	緊急技術改善普及	「非皆伐施業地における小型林業機械による搬出技術」の技術指針作成 前年度作成した技術指針 「苗畑から植栽地までの苗木管理技術」の特別普及指導	
林業後継者対策事業	後継者対策推進会議	地域林業の振興、担い手育成対策、間伐等森林の整備等基本方針の樹立、事業の検討調整、調査	
	林業教室の開催	一般コース……実施地区：四日市、中勢、上野林業事務所 専門コース……実施地区：尾鷲、熊野林業事務所 婦人コース……実施地区：尾鷲林業事務所	受講生 30人 特用林産及び木材加工 受講生 各30人 受講生 15人
	指導林家の活動促進	指導林家中央研修会（東京） 指導林家情報研修会（松阪市、勢和村）	出席者 19人
	学習活動促進	林研グループ交換研修（津市） 〃 リーダー研修（大阪府千早赤坂村）	出席者 30人 〃 23人
	地域活動促進	実施主体：紀伊長島町 実施内容：林業コンテスト 林業青年交流活動	
	青年林業士活動促進	青年林業士認定：認定者数 14人 活動報告会開催（久居市、白山町） ゼミナール開催（名張市）	開催回数 計6回
	技術開発要請課題実証	テーマ：太陽熱利用による簡易木材乾燥 実施グループ：三瀬谷地区木材協同組合木材住宅研究会	

